

経済活性化へ決意新た

多治見商議所が賀詞交歓会

多治見商工会議所は4日、新春賀詞交歓会を多治見市新町の市産業文化センターで開いた。従来規模に近い約300人が参加し、地域経済活性化に向け気持ちを新たにした。

(箕浦由美子)



「縦糸が大切」とあいさつする田代正美会頭
「多治見市新町市産業文化センター」

300人が参加、新体制紹介



新型コロナウイルス感染症の影響で中止、規模を縮小した時期を経て、今年は

3年ぶりに入場制限のない形で開いた。

古川雅典市長、古屋圭司衆院議員、渡辺猛之参院議員、大野泰正参院議員をはじめ、会員企業、行政、各種団体の関係者らが顔をそろえた。

田代正美会頭（バローホールディングス会長兼CEO）は、時代を経て変わらないうちの大切なものを機織りの縦糸に例え「縦糸をしっかりと張っておかないと世の中おかしくなってくる。横糸は時代に合わせてデザインし、織物にしたい」と強調。委員長全員が世代交代した新体制を紹介し「世の中が変わる中、商工会議所と一緒に歩んでいただきたい」と呼びかけた。

恒例の乾杯は避けたが、会員らは和やかにあいさつを交わし歓談した。

300人が参加した賀詞交歓会
「同」